

# 河内川ダム建設の無駄と無謀 その③〇

河内川ダム建設工事に係る

## 関西電力熊川発電所へのダム補償金に疑惑 15

（小浜市） 松本 浩

福井県(杉本達治知事)は、河内川ダム建設に係る関西電力発電所の導水路付替工事補償の名目で、平成30年度に9,000万円、平成31年度に6,400万円の予算を計上し支出したが、該当する付替水路工事はダム本体工事費からの支出金で賄い、補償工事費1億5,400万円は闇に消えた。

令和3年4月23日における筆者と河川課職員とのやり取りでも(前号)、河川課は河内川ダム建設費の付替水路工 9,000万円、付替水路工 6,400万円の用途不明について説明できず、同補償工事費1億5,400万円支出の正当性を主張できなかった。

**松本**：あなた方(河川課)は付替水路工 9,000万円の財源は、計上された「補償工事費」ではなくてダムの「本工事費」だとおっしゃっておられますが、「本工事費」のどこからの支出ですか。

**職員**：……

**松本**：平成30年度実施内容の「ダム費」の項でも、「堤体工 12億8,300万円」とか「ダム用仮設備工事費 3億4,600万円」とか、たくさんの項目があるので私などには分かりませんが、この「本工事費 27億1,000万円」のどの支出項目から「補償工事費 9,000万円」が支出されたんですか。

**職員**：…… それは、分からないんですよ。

**松本**：分からないことはないでしょう。

**職員**：それは分からないんです。「本工事費」の全体から支出されたとしか申し上げられません。

**松本**：そんなアホな…… それじゃ、「どんぶり勘定」じゃないですか。

**職員**：「どんぶり勘定」ってことはありませんよ。

**松本**：「どんぶり勘定」じゃないですか。9,000万円もの工事費を流用しておいて、9,000万円の出所は「ダム費」の全体から出したなんて、「どんぶり勘定」じゃないですか。

**職員**：……

**松本**：あなた方は、9,000万円は平成30年度の付替水路工 30-1(3,760万円)と 30-3(4,840万円)の二つの補償工事に使ったと説明されています。

金額から見ますと、「本工事費」の項目に近い金額としては「ダム用仮設備工」の中の「諸設備 1式 8,450万円」というのがありますが、この諸設備の内容を示す文書の開示請求をさせて頂くことは可能ですか。

**職員**：いや、それは無理です。

**松本**：どうしてですか。

**職員**：この「諸設備 1式」というのはダム本体工事の全体に含まれるものですから、文書開示ということになると、170億円のダム費の全文書になり、膨大な量になりますし、コピーの作業量も手数料もまた、大変なことになりますので……

**松本**：……

（「諸設備 1式 8,450万円」が「ダム本体工事 1式」に含まれることはあり得ないこ

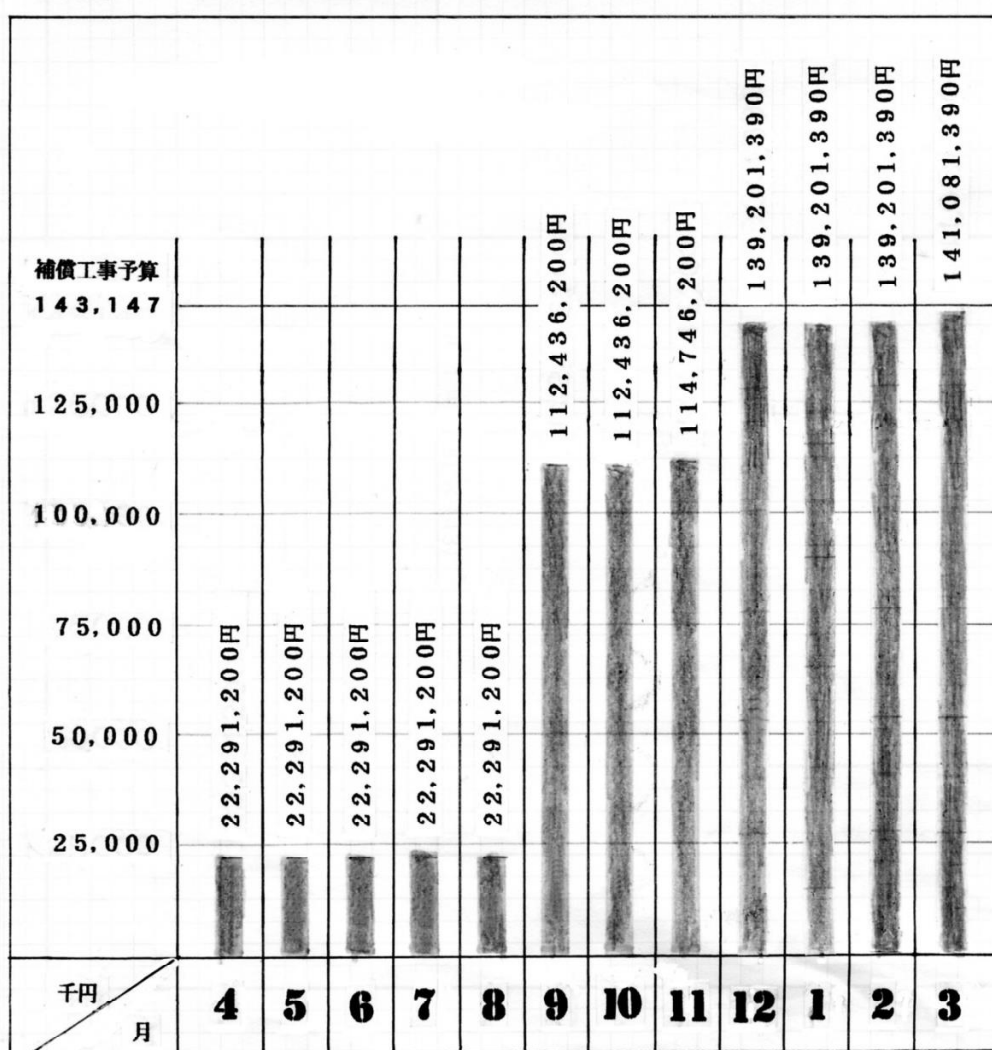
と思われたが、ちらと頭をかすめた百万単位のコピー料金と職員の無駄な労務を考えて萎縮した自分はすごとと県庁を引き上げた……)

福井県は架空工事に「付替水路工」の名をかぶせて、平成 29 年度度は 2 億 400 万円、平成 30 年度は 9,000 万円、令和 1 年度は 6,400 万円、計 3 億 5,800 万円の裏金を捻出、ダムに水没する熊川発電所導水路の付替補償費として密かに関西電力に支払った。

河内川ダム建設工事の「補償工事」は付替県道、付替町道、付替水路の三つに大別される。

令和 1 年度の場合、当初補償工事費として付替水路工 6,400 万円を計上、変更追加で付替町道工 7,000 万円の予算を計上（いずれも国交省認可）したが、ダム建設工事の補償工事費は、同年度分としては 1 億 4,314 万円しか残っていなかった（前号）。

しかも、その 1 億 4,314 万円は下記棒グラフのとおり、付替町道工としてほぼ全額を使い切っている（98.55%）。



## 令和1年度の河内川ダム建設工事に係る付替町道工事一覧表

工事名	請負契約日	請負金額 (円)	財 源	工事概要ほか
付替町道 1 - 1	1. 4. 25	19,828,800	補償工事費	防護柵工 1,557m
付替町道 1 - 2	1. 4. 17	2,462,400	補償工事費	
付替町道 1 - 3	入札不調			
付替町道 1 - 4	1. 8. 14	51,400,000	<b>本工事費</b>	林道補修工事
付替町道 1 - 5	1. 9. 25	13,398,000	補償工事費	舗装工 4,120 m <sup>2</sup>
付替町道 1 - 6	1. 9. 3	18,557,000	補償工事費	落石防護柵 269m
付替町道 1 - 7	1. 9. 3	15,796,000	補償工事費	落石防護柵 309m
付替町道 1 - 8	1. 9. 3	19,987,000	補償工事費	落石防護柵 300m
付替町道 1 - 9	1. 9. 19	19,998,000	補償工事費	植生工 1,290 m <sup>2</sup> 他
付替町道 1 - 10	1. 9. 18	2,409,000	補償工事費	防護柵工 184m
付替町道 1 - 11	1. 12. 4	18,876,000	補償工事費	落石防止網 1,430 m <sup>2</sup>
付替町道 1 - 12	1. 11. 26	2,310,000	補償工事費	舗装工 300 m <sup>2</sup> 他
付替町道 1 - 13	1. 12. 16	2,479,950	補償工事費	管理施設工 2 基
付替町道 1 - 14	1. 12. 16	2,486,000	<b>本工事費</b>	1,850,780 補償工事費 635,240
付替町道 1 - 15	1. 12. 10	2,464,000	補償工事費	植生工 232 m <sup>2</sup>
付替町道 1 - 18	2. 3. 16	1,880,000	補償工事費	植生工 254 m <sup>2</sup>
付替町道 1 - 17	2. 6. 24	9,500,000	<b>本工事費</b>	落石防護柵 64m 他
以上合計金額		203,832,150 円		

補償工事費 141,081,390 円 (補償工事費予算の 98. 55%)

**本工事費** 62,750,760 円

しかし、裏金として支出した架空工事費(付替水路 6,400 万円)であっても国庫補助金事業の河内川ダム建設工事会計には書類上は認可された金額を記載する必要がある。

そこで福井県(杉本達治知事)は、本工事費で施工された別工事に「付替町道 1 - 4」、「付替町道 1 - 14」、「付替町道 1 - 17」の

補償工事名を付して、令和 1 年度実施済み付替町道工事を水増しして架空工事分を補填した(上記一覧表)。

福井県は手の込んだ巧妙な詐欺の手口で関西電力の利益を図り、国土交通省は原子力発電所の再稼働を担保にこれを承認した。

(次号に続く)